



報道関係者各位

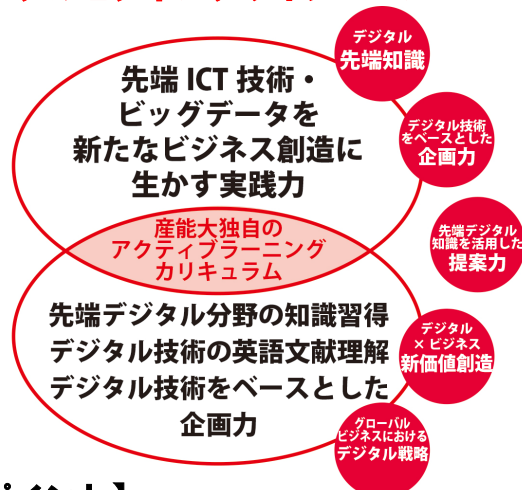
2030 年に 45 万人不足の先端 AI・IoT 人材を産業能率大学独自のカリキュラムで育成

産能大「デジタルビジネスデザインコース」開設

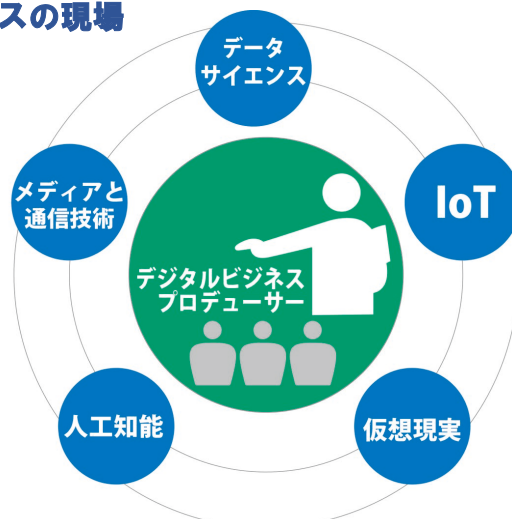
ビジネスの現場で不足する 先端 ICT 技術やビッグデータを統合的に理解・駆使し
ビジネスをプロデュースできる人材を独自のアクティブラーニングで育成 2021 年 4 月開設

産業能率大学（東京都世田谷区）は、2021 年度より、先端 ICT 技術やビッグデータを統合的に理解し、ビジネスとしてプロデュースできる人材を育成する「デジタルビジネスデザインコース」を情報マネジメント学部（湘南キャンパス）に開設します。新コースの「デジタルビジネスデザインコース」では、コンピュータサイエンス、データインテンシブサイエンス分野のベースコンセプトについて学んだ上で、それらを領域横断的に理解し、新たな価値創造、新たなビジネス創造につなげる事に重点を置き、情報技術を統合的に理解し、ビジネスとしてプロデュースできる人材を育成します。

デジタルビジネスデザインコース



ビジネスの現場



【ポイント】

- ◆2021 年度産業能率大学情報マネジメント学部の新コース「デジタルビジネスデザインコース」開設
- ◆同コースでは、ビジネスの現場で不足する、先端 ICT 技術やビッグデータを統合的に理解・駆使することができ新たな価値を創造できるデジタルビジネスプロデューサーを育成
- ◆PBL (Project Based Learning)で実績のある産業能率大学が、実践力を鍛える独自のアクティブラーニング授業により、「先端デジタル知識・技術&ビジネスで生かす実践力」を鍛えデジタルプロデュース力を育成
- ◆実際の企業を相手にビジネスプランを提案。プロジェクト型専門科目により、3 年かけて企業のデジタル人材育成同様の実践力を育成
- ◆同大情報マネジメント学部においてこれまで実施してきた、コンテンツビジネスコースにおけるビッグデータ活用・データマーケティングなど最新のデジタルビジネス教育を統合し体系化
- ◆先端技術の専門英語・英語文献学習を一部の科目に取り入れることによりグローバルビジネス対応力育成
- ◆卒業後は、企業で不足するデジタルビジネスプロデューサー、社内外プロジェクトや海外企業とのビジネスにおけるデジタル戦略リーダーとして活躍



【産業能率大学「デジタルビジネスデザインコース」概要】

- ◆コース名称：デジタルビジネスデザインコース
- ◆設置学部：産業能率大学 情報マネジメント学部
- ◆設置年度：2021年度
- ◆コース専門科目（7科目）

2年次：デジタルビジネス企画ワークショップ（3・4年生の「デジタルビジネスプロデュース」との連携授業）、デジタルビジネス入門、先端デジタル分野の理解Ⅰ

3・4年次：デジタルビジネスプロデュース（2年生の「デジタルビジネス企画ワークショップ」との連携授業）、デジタルビジネスの考え方、先端デジタル分野の理解Ⅱ、グローバル社会とデジタル技術

【特徴】

- ◆産業能率大学独自のアクティブラーニングを活用した実践力育成カリキュラム
先端デジタル分野の知識・技術の習得だけでなく、企業連携によるPBL授業など、アクティブラーニングをベースとした独自のカリキュラムにより、ビジネスの現場で使える実践力を身に付ける。
- ◆「先端デジタル知識・技術＆ビジネスで生かす実践力」を鍛える授業
2年次より、先端デジタル知識・技術とマネジメントの知識をビジネスの現場で生かすための演習授業及びPBL授業を展開します。

【コース専門科目の構成】

【PBLで実践力を鍛える】（2・3・4年生）

デジタルビジネス企画
ワークショップ

（2年生対象）先端デジタル技術を活用したビジネス企画を演習を通じ体験。3・4年生の授業「デジタルビジネスプロデュース」と連携して行う学年をまたいだ相互交流型授業。

デジタルビジネス
プロデュース

（3・4年生対象）実際の企業を相手に、ビジネスプランを提案。本コースの集大成として、それまでに学んだ知識・経験・スキルを活用し、ビジネスで使える実践力を身に付けます。

【グローバルビジネス対応】

グローバル社会と
デジタル技術

（3・4年生対象）コースで対象とする分野について、専門英語での表現を学ぶとともに、最先端のデジタル技術について、英語文献をもとに理解を深める。

【ビジネス企画力】

デジタルビジネス
の考え方

（3・4年生対象）デジタル技術をベースとしてビジネス企画を立案するためのノウハウの習得を目指す授業。

【先進デジタル分野の知識習得】（2・3・4年生）

先端デジタル分野
の理解Ⅰ・Ⅱ

領域横断的に先端デジタル分野の基礎知識が最先端のアドバンストな部分について、技術屋ではなく、ビジネスをプロデュースするための視点で、体系的に理解する。

【デジタルビジネスの基礎知識を習得】

デジタルビジネス入門

（2年生対象）デジタルビジネスを学び・演習を行う上でのベースとなる基礎知識を学ぶ。

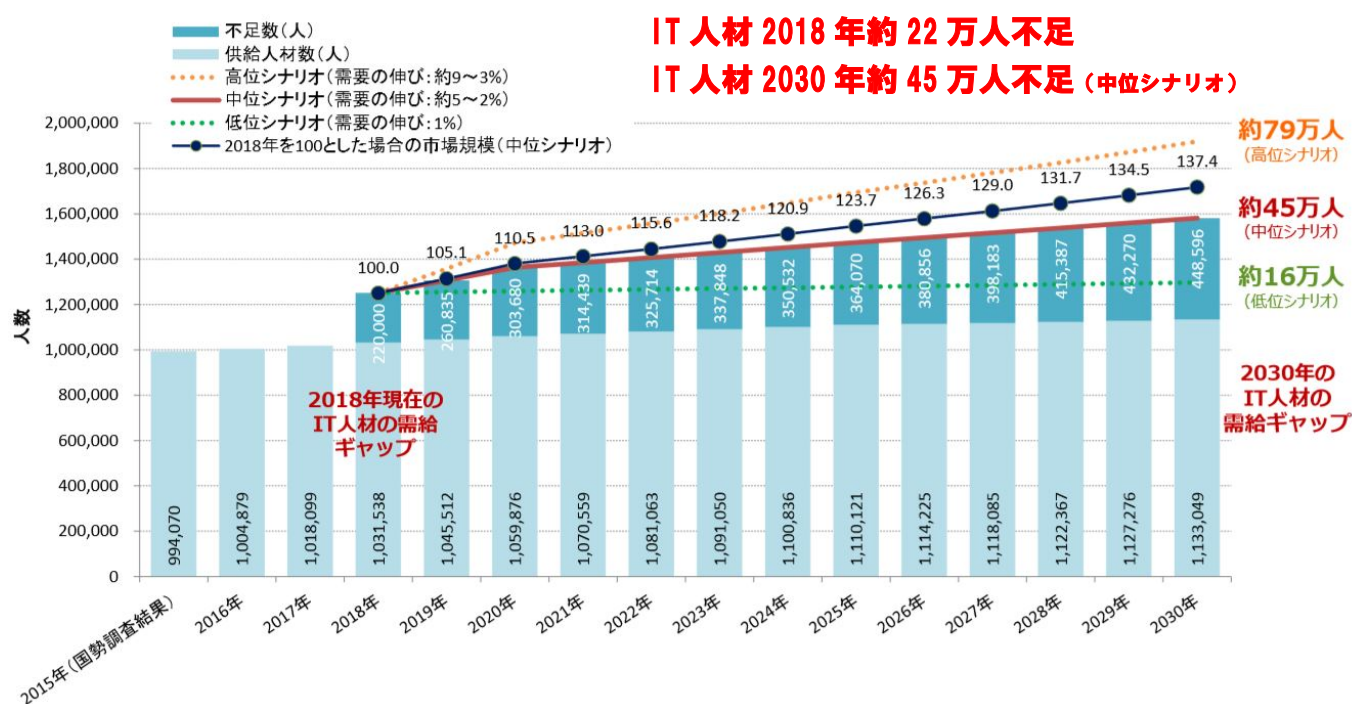


【コース新設の背景】

IoT、データサイエンス、通信、クラウド、AI、仮想現実、メディア表現などのコンピュータサイエンス、データインテンシブサイエンス分野において個々の技術が単体ではなく、互いに密接に連携して進化していく時代。そして今年には経済を変えると言われる「5G」時代が世界でスタートします。しかし、日本のビジネスの現場では、先端 ICT 技術やビッグデータを統合的に理解・駆使し、ビジネスとしてプロデュースできる人間が圧倒的に不足しています。経済産業省「IT 人材需給に関する調査」（2019 年 3 月）によると、2030 年には AI や IoT に関わる先端人材が 45 万人不足するとされています。政府の統合イノベーション戦略推進会議は昨年 3 月、AI を使いこなす人材を年間 25 万人育成する戦略案を公表しました。今、ビジネスに、先端 ICT 技術やビッグデータを総合的に活用するデジタルビジネスプロデューサーが多くの企業で求められています。

【深刻な日本の AI・IoT 人材不足】

経済産業省「IT 人材需給に関する調査」（2019 年 3 月）によると、2030 年には AI や IoT に関わる先端人材が 45 万人不足すると試算されています。先端 IT 人材とは、「AI やビッグデータ、IoT 等、第 4 次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手として、付加価値の創出や革新的な効率化等により生産性向上等に寄与できる」と定義。一方、2030 年には従来型 IT システムの受託開発、保守・運用サービス等を行う「従来型 IT 人材」は 10 万人余るとされています。すなわち 2030 年に人材不足と人材余剰が同時に起こることが予想され、AI や IoT に関わる先端人材の育成が急務となっています。



【出典】「IT 人材需給に関する調査」調査報告書「IT 人材需給に関する試算結果」（2019 年 3 月、経済産業省）

※2015 年は総務省「平成 27 年国勢調査」によるもの、2016 年以降は試算結果をもとにみずほ情報総研作成経済産業省データ

【政府が推し進める AI・IoT 人材育成】

政府の統合イノベーション戦略推進会議は、昨年 3 月、AI を使いこなす人材を年間 25 万人育成する戦略案を公表。急務となっている AI・IoT 人材育成を推進しています。

統合イノベーション戦略推進会議：<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tougou-innovation/>



【産業能率大学】

ホームページ： <https://www.sanno.ac.jp/>

【新型コロナウイルス感染症拡大への対応としてオンライン形式授業を実施中】

産業能率大学では、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、5月8日よりオンライン形式で授業を行っています。Zoomを利用した授業のご取材や担当教員へのインタビューも可能です。ご取材の際は、下記連絡先までご連絡ください。

【授業例】 ※下記以外の授業もオンラインで実施しております、

- ゼミ（オンラインでグループワークなども実施）
- 英語（会話や発音トレーニングもオンラインで実施）
- PBL（Project Based Learning）科目：エディター養成プログラム など



◆本件に関するご取材◆

産業能率大学 企画課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15

Email : kikaku@hj.sanno.ac.jp TEL:03-3704-0731